

パネルディスカッション【市民・企業・行政のコラボレーションによる街づくり】

コーディネーター：金丸宜弘

パネリスト：川崎泰之・松本禎之・木村純一

基調講演の内容をうけて金丸氏をコーディネーターとして、市民、企業、行政の三位一体のコラボレーションによる街づくりを、川崎市の景観行政・街づくりに係わる市民・景観材を提供する企業の各代表の方々からそれぞれの立場での意見や提案を頂きます。

プロフィール

金丸宜弘	1984年	三重大学工学部建築学科卒
	86年	名古屋大学大学院工学研究科修士課程終了
		株式会社環境設計研究所(現、曾根幸一・環境設計研究所)入所
	2002年	同社代表取締役就任
	1995年	川崎市大規模建築物等景観形成ガイドライン策定
	99年	公共施設景観形成ガイドライン策定基礎調査
	2001年	川崎市小杉駅南部地区周辺景観形成基礎調査
	04年	小杉駅南部地区F地区まちづくり推進業務

市民

川崎泰之	川崎市高津区 在住	
	1999年	高津区まちづくり協議会会員
	2004年	高津区まちづくり協議会 たかつ水辺の風景部会会長

企業

松本禎之	1995年	武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒
		日本鑄造株式会社入社 同年株式会社キャストデザイン研究所出向
	2004年	日本鑄造株式会社 鋼構造営業部に配属
	1997年、99年、2000年	川崎市色彩デザイン作成業務
2002年	川崎市幸歩道橋橋面デザインプラン	

行政

木村純一	1978年	川崎市役所 入所
	2003年	川崎市まちづくり局計画部 都市計画課長
	2005年	川崎市まちづくり局計画部 景観・まちづくり支援課長

川崎都市景観協議会

川崎都市景観協議会とは

川崎都市景観協議会は平成6年7月に景観事業に携わっている市内7社の企業により発足されました。21世紀を迎え川崎市が明るく、活気に溢れたイメージを持ち、そして潤いのある住みやすい都市づくりを目指すには、いろいろな経験や知識を持った企業が協力して行くことが必要と考えて設立を致しました。

これまで都市景観分野で蓄積した経験を活かし、微力ではありますが市の都市景観についての調査、研究を行い積極的に提案等を行い、行政との協働作業や協議会独自の活動を通じて、川崎企業市民として市の発展に貢献致したく活動を行っております。

平成10年8月：川崎市・都市景観形成協力者表彰

平成16年7月：川崎市・奨励賞を受賞

川崎都市景観フォーラムの歴史

第1回	平成7年2月	我が国の都市デザインと近代建築運動／芝浦工業大学・教授 曾根幸一
第2回	平成7年10月	水と都市づくり／神奈川大学・教授 高橋志保彦
第3回	平成8年10月	自然と共生してゆく都市景観づくり／女子美術大学・教授 中島猛夫
第4回	平成9年10月	江戸の街とその文化／藍川流家元 藍川 裕
第5回	平成10年10月	身近な生活空間における街なみづくり／千葉大学工学部・教授 北原理雄
第6回	平成11年10月	街の活性化をデザインする／多摩大学経営学部・教授 望月照彦
第7回	平成12年10月	現代に生かす日本文化のデザイン／多摩美術大学・教授 榎野俊明
第8回	平成13年10月	音で考える人・物・場／A & F 株式会社・代表取締役 福田哲夫
第9回	平成14年10月	世界の街なみ Day & Night／東京学芸大学名誉教授 伊藤清忠 ／中島龍興照明デザイン研究所代表取締役 中島龍興
第10回	平成15年10月	古代・川崎の都市景観／考古学者 戸田哲也
第11回	平成16年10月	環境デザイナー、風土に学ぶ／東北芸術工科大学・助教授 廣瀬俊介

会員企業及び団体

JFEスチール(株) 相武興産(株) 日本鑄造(株) (社)川崎塗装工業会 (株)MARUWA SHOMEI